

## 【教員公募】（理学院）

人員	1名	
所属	理学院（化学系化学コース担当）	
専門分野	無機化学系（新規固体触媒の創製または固体表面の触媒作用の解明に熱意をもつ方）	
応募資格	博士の学位を取得済み、または平成29年3月までに取得見込みの方	
職務内容	担当講義は主に学士課程1年次教養科目化学実験。2・3年次化学系学生実験および演習科目も分担する。	
勤務予定地	東京都目黒区大岡山、東京工業大学大岡山キャンパス	
勤務時間	週38時間45分（裁量労働制）	
給与形態	年俸制	
雇用形態	本学が申請中の補助金(*)の採択状況により、以下の①と②のどちらかになる(※)	
	①【特任教員】 補助金が採択された場合	②【専任教員】 補助金が採択されなかった場合
職名:	特任助教	助教
勤務形態:	特任教員（専任教員と同等の待遇）／任期3年以内 採用後3年以内に専任教員へ切り替える。 （その後は任期5年以内・再任の可能性有り・通算10年以内）	専任教員 （任期5年以内・再任の可能性有り・通算10年以内）
給与:	本学有期雇用職員就業規則に基づき、専任の助教として採用された場合に受けることとなる年俸額を基礎として、専任の助教との均衡を考慮して決定する。	本学年俸制適用職員賃金規則による。
その他:	平成29年3月末時点で39歳以下の方（当該補助金は若手研究者の雇用促進を目的としており、雇用対策法施行規則第1条の3第1項例外事由3号ニに該当）	
着任予定	決定後できるだけ早い時期（原則として平成28年度中）	
応募締切	平成28年10月28日（金）必着	
選考方法	提出された書類による審査および面接	
応募書類	1. 履歴書 2. 業績リスト（論文と学会発表） 3. 主要論文のコピー（3編以内） 4. これまでの研究の概要（A4用紙2枚程度）、今後の研究と教育に関する抱負（A4用紙2枚程度） 5. 照会可能な方2名の氏名・連絡先	
書類提出方法	上記書類の印刷体とそのpdfファイルが書き込まれたUSBメモリを、「化学系助教応募書類在中」と朱書した簡易書留等で送付すること。応募書類は返却いたしません。	
(書類送付先)	〒152-8550 東京都目黒区大岡山 2-12-1 H-58 東京工業大学理学院化学系事務室	
問合せ先	〒152-8551 東京都目黒区大岡山 2-12-1 E1-10 東京工業大学理学院化学系 小松 隆之 電話：03-5734-3532 Eメール：komatsu.t.ad@m.titech.ac.jp	

---

その他

補助金(\*)採択の可否決定後、上記雇用形態に合わせて本公募案内を改訂します。

---

- ・書類選考後に面接をお願いする場合、来訪旅費は原則自己負担になります。
- ・東京工業大学では、多彩な人材を確保し、大学力・組織力を高めるため、全ての研究分野において、外国人や女性の参画する均等な機会を確保します。
- ・個人情報はこの採用のためだけに用い、他の目的には使用しません。

※この公募では、国立大学改革強化推進補助金（特定支援型「優れた若手研究者の採用拡大支援」\*）による特任助教の雇用を予定しています。採用後1～3年目に、所定の手続きにより、専任教員（助教）へ切り替える予定です。なお、当該補助金の採択状況等によっては、採用当初から本補助金による雇用ではなく専任教員として雇用される可能性もあります。

\*特定支援型「優れた若手研究者の採用拡大支援」（文部科学省予算）

「国立大学改革プラン」におけるシニア教員から若手・外国人へのポスト振替等を進める意欲的な大学への積極支援に加えて、「国立大学経営力戦略」においても、活力ある教育研究を持続的に保証するという観点から、中長期的な視野に立って教員の年齢構成の是正を図り、若手が活躍できる、安定性ある環境を整備することが重要な戦略とされています。本補助金はこれらのプラン・戦略を受けた若手研究者のポスト拡大のための取組について、集中的・重点的支援を行うためのものです。